

1 主 題 みんなのために〔4－（2）勤労〕

2 資料名 「もりの ゆうびん屋さん」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目4－（2）は「働くことのよさを感じて、みんなのために働く」ことをねらいとしている。働くことに対して誇りや喜びを持ち、働くことの意義、自己の果たすべき役割について認識し、働く人々に関心を持って進んで社会に役立とうとする気持ちや態度の育成を意図している。低学年の発達の段階においては、働くことを楽しく感じている児童が多い。しかし、それは働くことのよさを感じてみんなのために働くというより、他の人より早くできればそれでいいという仕事ぶりで、自己満足を得るために仕事をしていると考えられる。これらのことから、働くことによって、他者の役に立つうれしさや、やりがい、自分の成長などを感じられるようにしながら、進んで働こうとする心情を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態 (平成25年11月7日調査 第1学年*人)

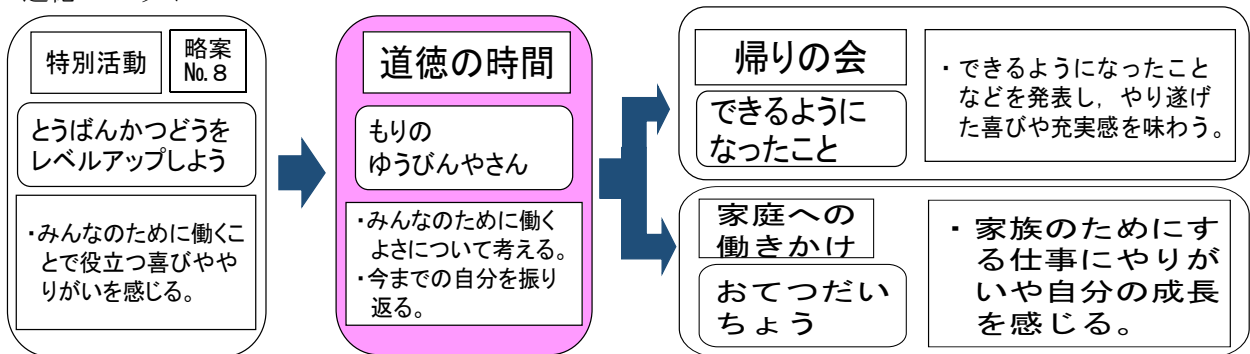
・あなたははたらくことが好きですか。	・はい *人 ・いいえ *人	・ほめられるから *人 ・その他 *人	・はたらくことが好きだから *人
・おてつだいをしてよかったです。おもうことはありますか。	・ほめられた *人 ・よろこんでもらえた *人	・おかげがもらえたから *人 ・おかあさんがたずかるから *人	
・おてつだいはだれのためにするのだとおもいますか。	・みんなのため *人		

調査の結果、児童は働くこと到大変意欲的であることが分かった。また、「手伝いは誰のためにやるか」という問いには「みんなのため」と答えている。しかし働く意義では自分がほめられるからという理由が多く、みんなのために働くことのよさに気付いている児童は少ない。

(3) 資料について (資料名「もりの ゆうびん屋さん」小学校道徳読み物資料集 文部科学省)

本資料は、みんなのために働くことの大切さを感じられるように構成している。郵便を配達するくまさんが、森のみんなのために、どんな天気の日でも毎日心を込めて郵便物を届ける。そんなくまさんに感謝する森のみんなの気持ちにくまさんが気付くという内容である。児童が一生懸命に働くくまさんに共感することで、勤労についての考えを深め、働くことのよさを感じる心を養っていきたい。

4 道徳ユニット



5 本時の学習

(1) 目標

役に立つうれしさを感じ、みんなのために進んで働こうとする心情を養う。

(2) 自尊感情を育むのための手立て

- 共有体験を実感させるために、資料提示は紙芝居や郵便ポストなどの実物を使って行い、円弧で前を見られる学習形態を工夫する。 (共視・共感)
- 雪の日の場面では、窓を開けて寒さを実感する共有体験をさせる。 (共感)

(3) 準備・資料

郵便ポスト 郵便バック 紙芝居 挿絵 こりすからの手紙 ワークシート 心の表情カード
こころのノート

(4) 展開

欄	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 (◆ 観察・ワークシート ※ 評価)
5	<p>1 みんなのためにしている仕事について話し合う。</p> <p>○クラスでどんな仕事をしていますか。</p> <p>25 2 「もりの ゆうびんやさん」を読んで話し合う。(こりすの手紙の前で切る)</p> <p>○雪の日、小包を見たくまさんはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎ やぎじいさんに「ありがとう」と言われたくまさんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○こりすからのお手紙を読んだくまさんはどんなことを思ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルを片付けたら職員室に行ってお手紙を取ってくるんだよ。 ・植木に水をあげたり金魚にえさをあげたりしてるよ。 ・寒いから行きたくないな。 ・あんまりすごい雪だったら行けないから、明日にすればいい。 ・今日届けなきゃいけないお手紙があるかもしれないよ。 ・森のみんなはくまさんが来るのをとっても楽しみにしてるよ。行かないとがっかりさせちゃう。 ・みんな待ってるから行かなくちゃ。 ・やぎじいさん、うれしそうだな。 ・山道は大変だったけどやっぱり来てよかったな。 ・やぎじいさんの喜ぶ顔を見て、気持ちがポカポカしたよ。 ・明日も頑張って郵便配達をしよう。 ・みんなの喜ぶ顔がもっと見たいな。 ・大変な時もあるけどこれからも続けよう。 ・家で玄関を掃除していたら、おばあちゃんにほめられてうれしかったよ。 ・お風呂掃除をしたら、ピカピカになって気持ちよかったですよ。 ・仕事をしたら「ありがとう」って言われて明日もやろうと思ったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の係活動や当番活動の仕事内容について発表し合い ・頑張っているが時間内に終わらないなど、仕事の大変さにも触れておく。 ◆資料提示は紙芝居形式で行い、円弧で前を見られる学習形態を工夫して共有体験を実感させる。(共視) ・心の表情カードを使ってくまさんの気持ちをカードで表し、黒板に掲示することによって気持ちを視覚的に理解できるようにする。 ◆雪の日の場面のくまさんの気持ちを考える時は、児童の体調に配慮しながら窓を開けて寒さを実感する共有体験をさせる。(共感) ・みんなのために仕事をする気持ちや責任を持って仕事をする気持ちだけでなく、寒くて大変だからやりたくない気持ちなど、多様な考えを引き出して話し合えるよう補助発問をする。 ・やぎじいさんの喜ぶ気持ちに触れさせ、雪が降るの中、小包を届けたくまさんの気持ちをワークシートに記入させる。 ※役に立つうれしさを感じ、みんなのために進んで働くことに喜びを感じている。(観察・ワークシート・発表) ・家に帰った時にこりすの手紙があったことをここで児童に伝え、手紙を読んだくまさんの気持ちを考えさせる。 ◆郵便ポストにこりすの手紙を入れておき、くまさんを演じる教師がこりすの手紙を読む。(共視) ・学校や家庭などでみんなのために働いた生活経験を振り返り、こころのノート(P79)の「わたしのしごと」に記入させ、感じたことを再認識させる。 ・なかなか書けない児童には、当番活動や清掃活動で頑張っている様子を伝え、みんなの役に立っていることに気付かせる。
10	<p>3 自分の生活を振り返り、話し合う。</p> <p>○仕事をしてよかったな、うれしかったなと思ったのは、どんなときですか。</p> <p>5 4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家で玄関を掃除していたら、おばあちゃんにほめられてうれしかったよ。 ・お風呂掃除をしたら、ピカピカになって気持ちよかったですよ。 ・仕事をしたら「ありがとう」って言われて明日もやろうと思ったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭などでみんなのために働いた生活経験を振り返り、こころのノート(P79)の「わたしのしごと」に記入させ、感じたことを再認識させる。 ・なかなか書けない児童には、当番活動や清掃活動で頑張っている様子を伝え、みんなの役に立っていることに気付かせる。 ・みんなのために働いている身近な人物について話し、働くことのよさを感じさせる。